



交換リングコミュニティ「楽市」

稼ぐためではなく、回すための新しい経済圏

現代経済は「いくら稼げるか」を問いますが、楽市は「いくら回せるか」を問います。
通貨を支配者から感謝の道具へと戻す、新しいコミュニティの提案。

経済とは本来、人と人の間ににある「価値の交換」だった

本来の経済 (Original Economy)



通貨は、人の労力、時間、サービスを交換するための「道具」でした。目的はあくまで相互扶助と交換そのものです。

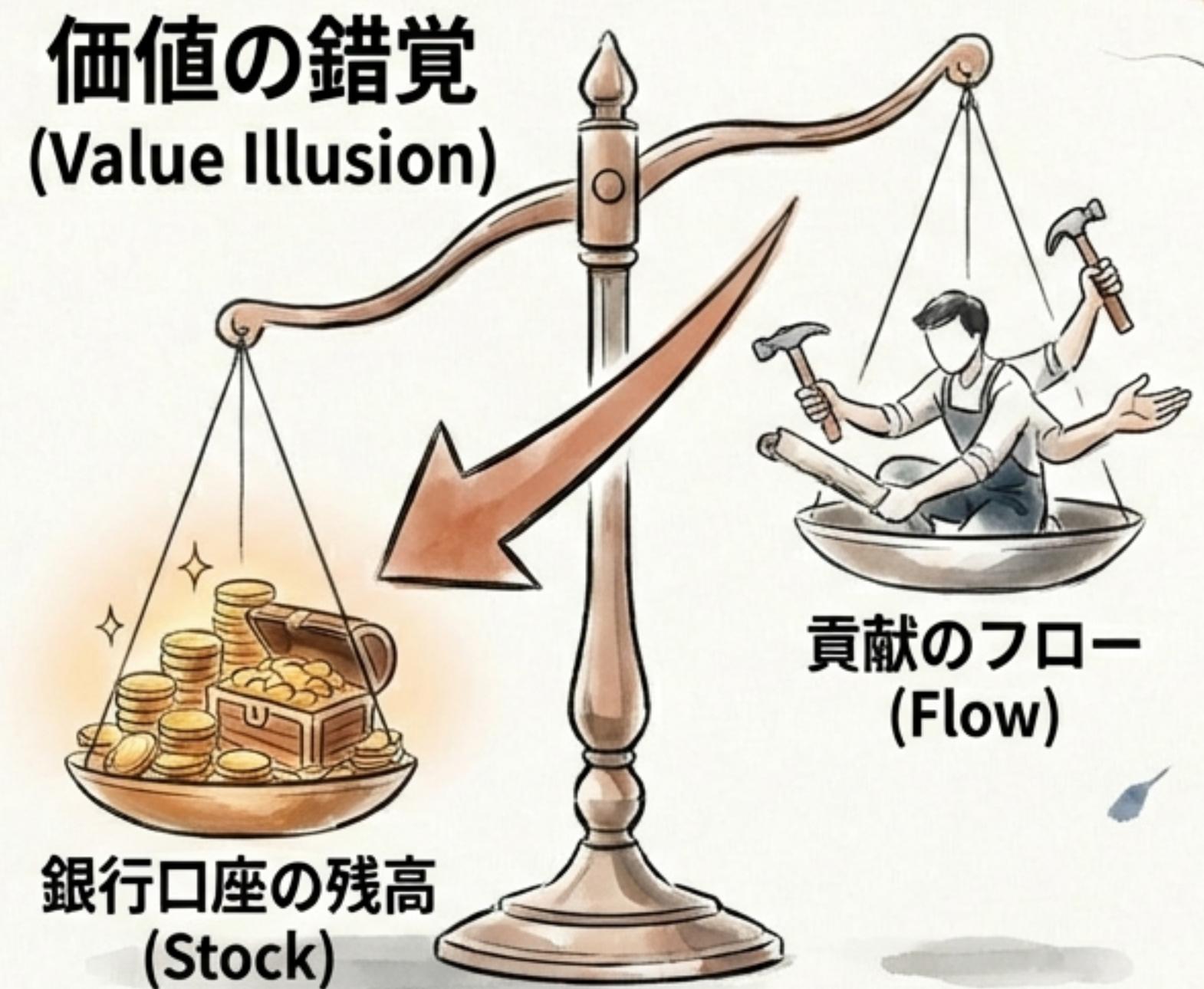
現代の経済 (Modern Economy)



道具であるはずのお金が「目的」になり、交換よりも「蓄積」が重視されるようになりました。お金が主人となってしまっています。

「いくら稼いだか」が人の価値を決める「価値の錯覚」

現代ビジネスの問いは常に
「利益は出るか？」
「スケールするか？」です。
欲望を刺激して巨万の富を得た
人が「成功者」と呼ばれ、
地味でも着実に貢献している人の
価値が見過ごされています。
..



「ビジネス」か「ボランティア」か。現代に残された二つの極端な選択

ビジネス (Business)

- ・高いハードル
- ・利益至上主義
- ・効率化

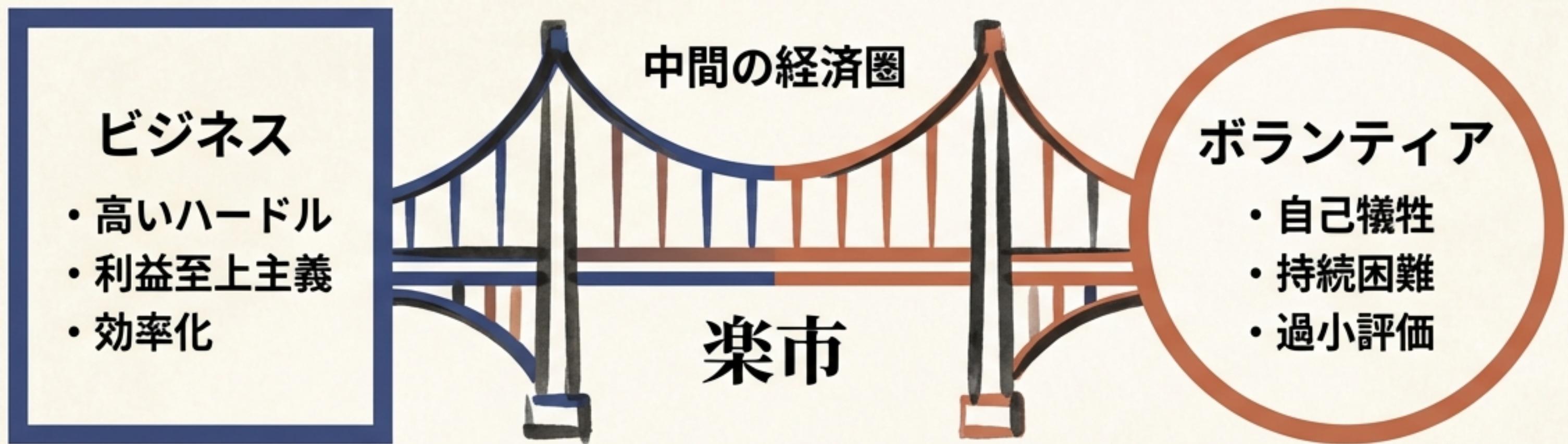
ボランティア (Volunteer)

- ・自己犠牲
- ・持続困難
- ・過小評価

「誰かの役には立つが、
ビジネスにはならない
小さな価値」の
行き場がない

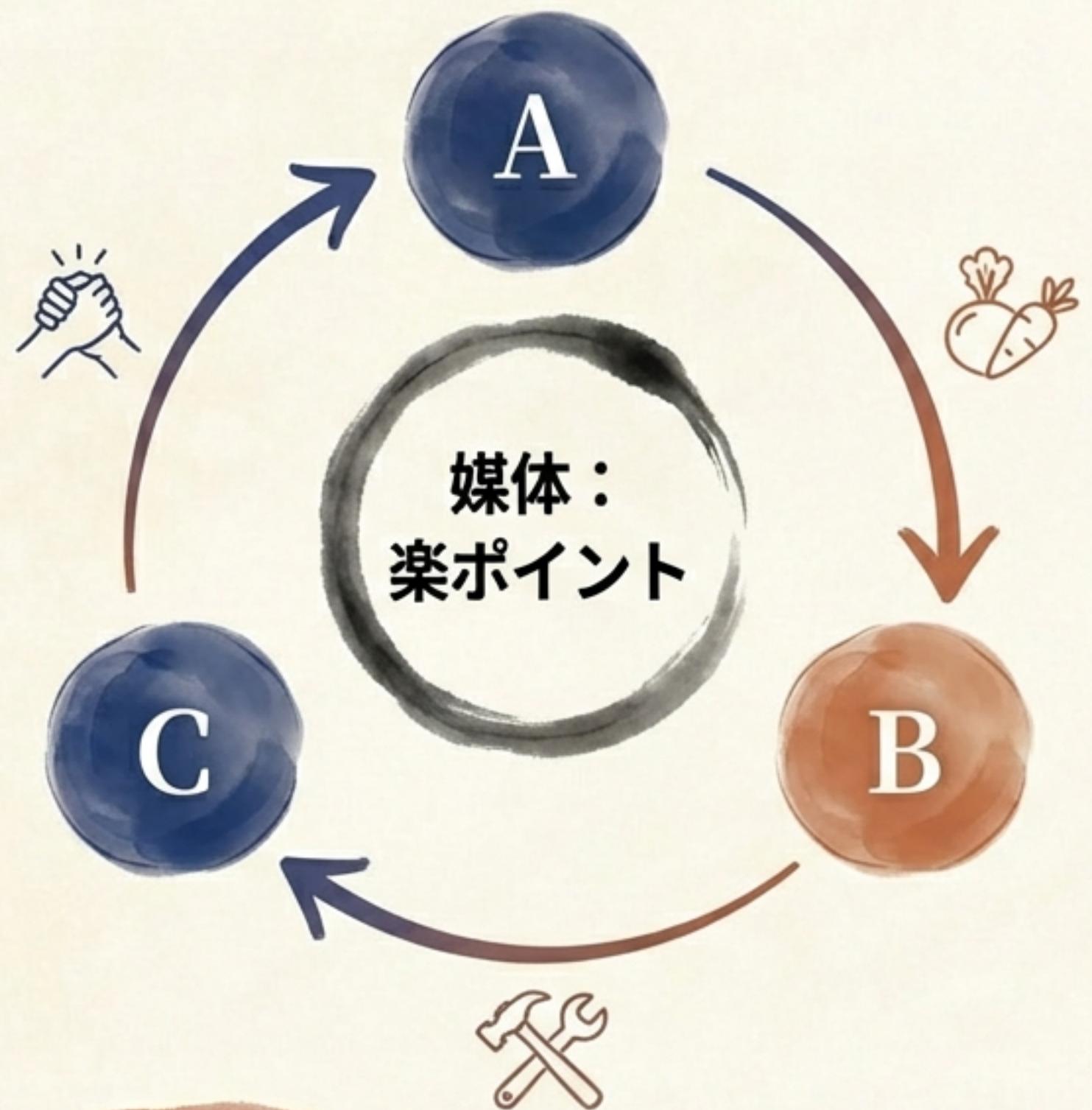
スケールしないものは切り捨てられ、対価を取らないものは疲弊する。
この二極化の間に、埋められるべき空白があります。

空白の領域を埋める「楽市」という解決策



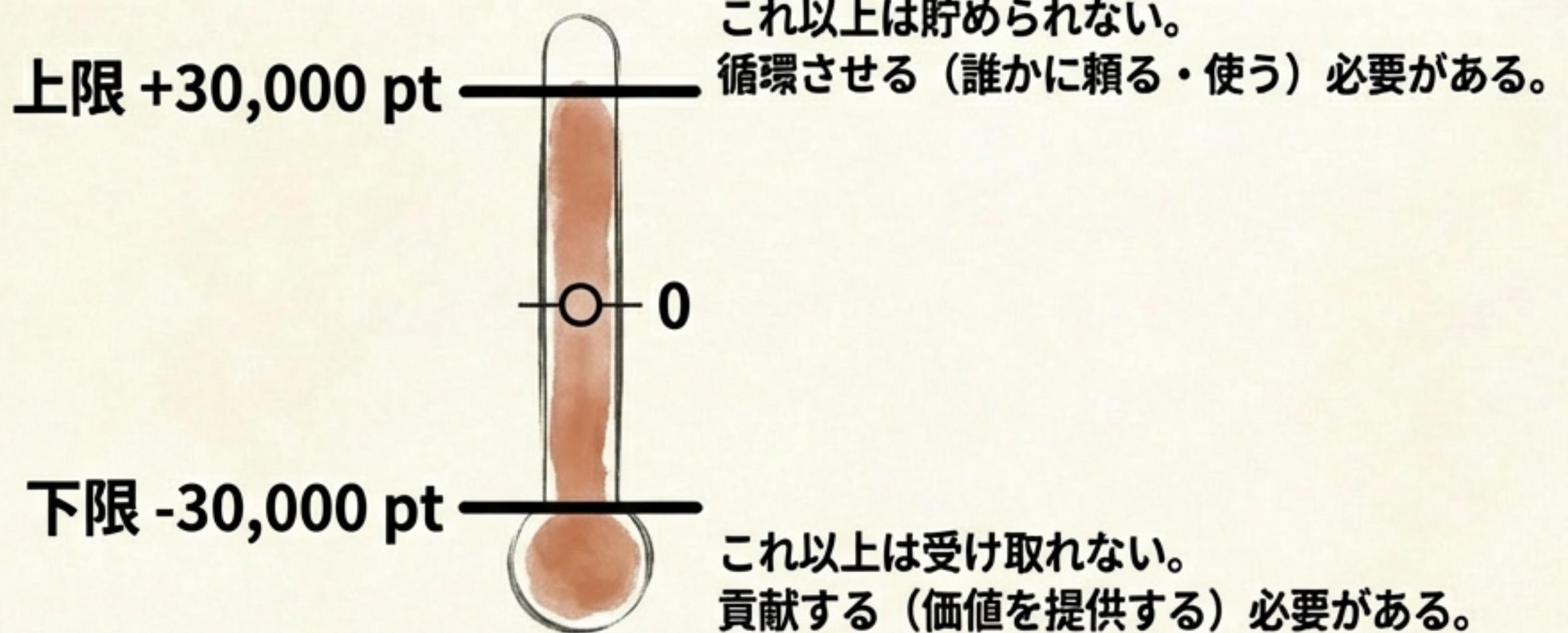
「楽市・楽座」の歴史に学び、既得権益から解放された自由な市場を現代に。
過度な利益追求でもなく、自己犠牲でもない。労働、時間、趣味といった
「小さな価値」が正当に認められ、自由に交換される場所を作ります。

直線的な取引から、循環する「リング」へ



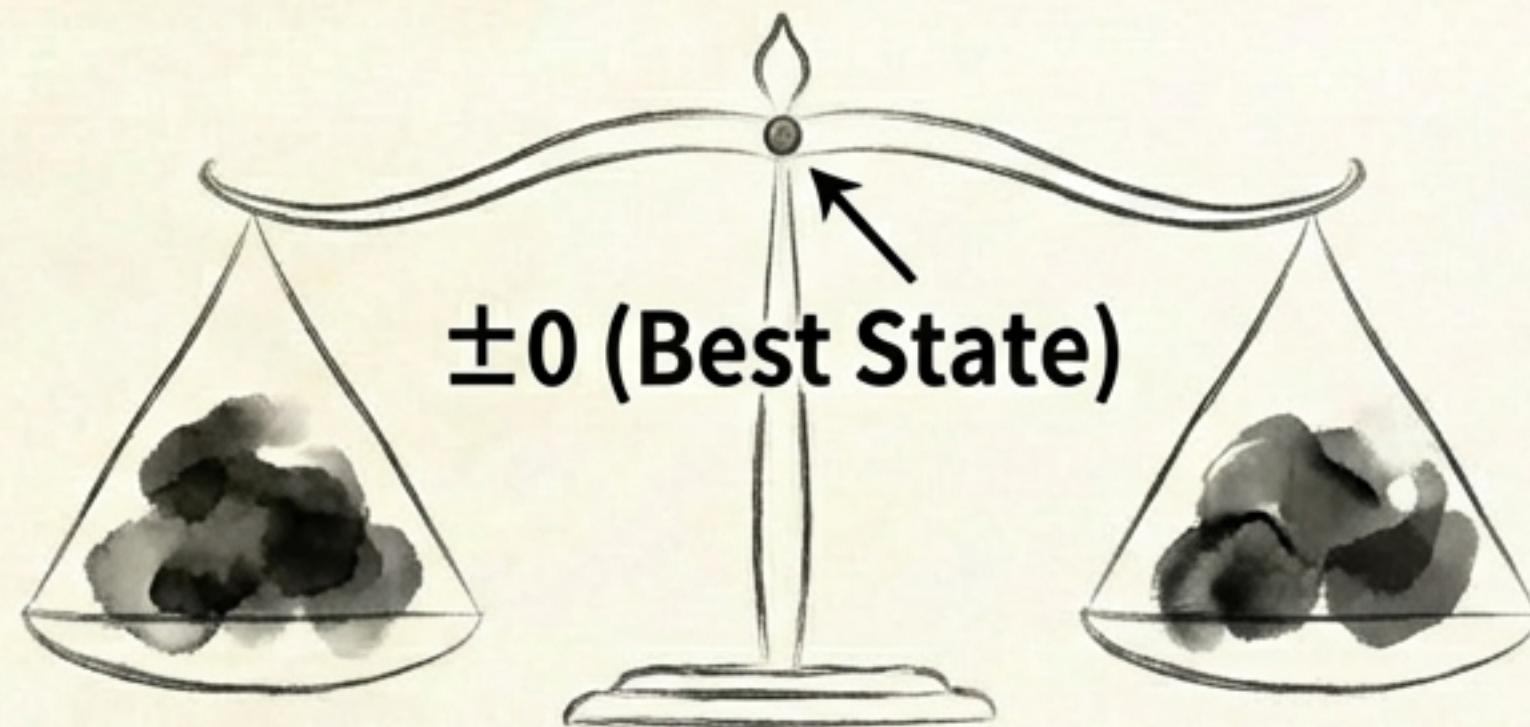
直接的な物々交換 ($A \leftrightarrow B$) は
困難です。
そこで、感謝のリングを
回すための媒体として
「楽ポイント」を使用します。
これは富ではありません。
価値を与えたたら (+)、
受け取ったら (-)。
ただそれだけの
「感謝と交換の記録装置」です。

「貯められない」からこそ、循環する



資本主義との決定的な違いは「リミット」です。
富の独占を防ぎ、フリーライダー（タダ乗り）も許さない。
貯蓄ゲームを終わらせ、循環ゲームを強制する設計です。

目指すべきは「資産の最大化」ではなく「プラスマイナスゼロ」



資本主義のゴール
無限の増大 ($+\infty$)



楽市のゴール
均衡と循環 (± 0)

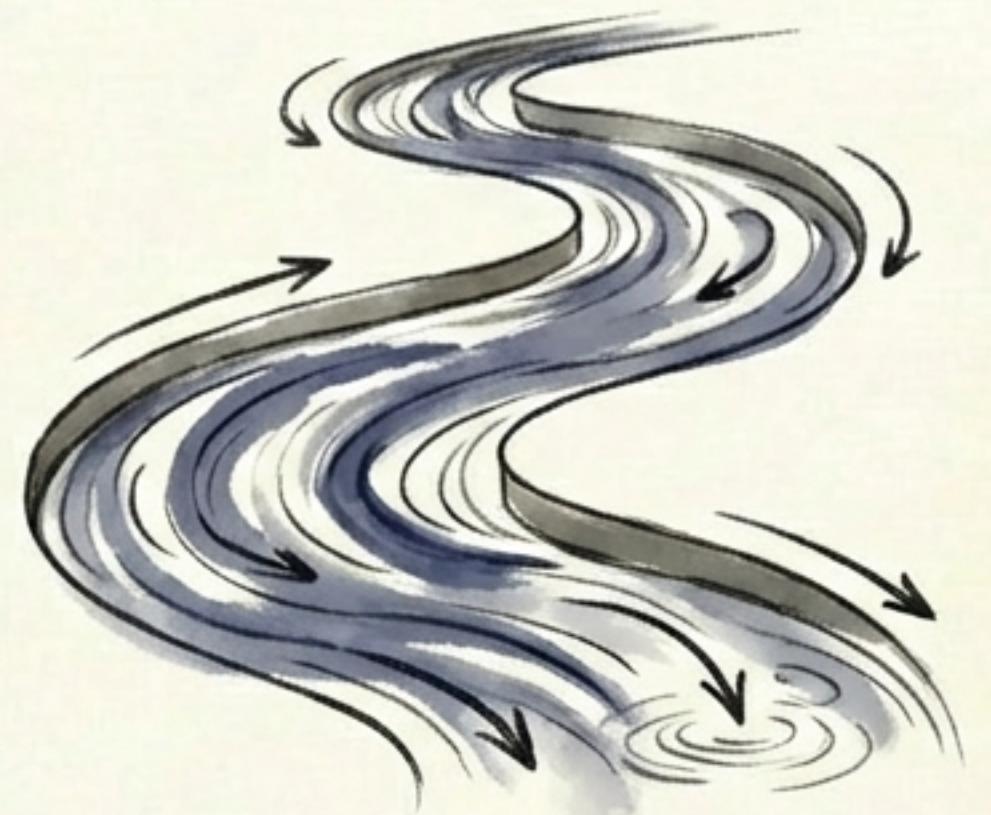


プラスマイナスゼロとは、受け取った恩と、
与えた貢献が釣り合っている状態。これこそが健全な姿です。
経済は「増やす」ことではなく「回す」ことです。

評価されるのは「残高」ではなく「活動量」



✗ 高残高・停滞



○ 高活動量・循環

私たちはポイントをどれだけ「持っているか（ストック）」を見ません。
どれだけ「動かしたか（フロー）」を見ます。個人の残高にかかわらず、
価値が常に手から手へ渡り続けるコミュニティこそが、健全で豊かです。

「趣味レベル」の価値が、経済活動として蘇る

「売るほどではない」「ビジネスには小さい」として
捨てられていた価値に、行き先が生まれます。
あなたの「好き」や「得意」が、そのまままるのも、
そまま誰かの役に立ち、楽ポイントとして評価されます。



家庭菜園の余剰野菜



趣味の占い



近所へのコーヒー



DIYの手伝い

ポイントは「別の価値」への変換装置



余った野菜
(Waste)

楽ポイント
に変換



交換



マッサージ・お米
(Necessity)

これは錬金術のようなものです。自分の得意なこと（園芸など）を提供し、
その対価として生活に必要なもの（米やサービス）を得る。
法定通貨（円）を使わずに、生活の一部を賄うことが可能になります。

「楽(らく)」に、気軽に、回すための道具

「楽市」の「楽」は、
安らぎや楽しさを意味します。

単位：1楽、100楽。

これは、借金のプレッシャーや
利息の恐怖がある「円」とは違います。
す。参加のハードルは低く、
ただ「ありがとう」を記録するだけの、
心理的安全性の高いツールです。



円への依存を減らし、人間関係を取り戻す

経済的自立



日常の小さな出費を楽ポイントで賄い、貴重な現金（円）を家賃や税金など必須の支払いのために温存できます。

ロスの削減



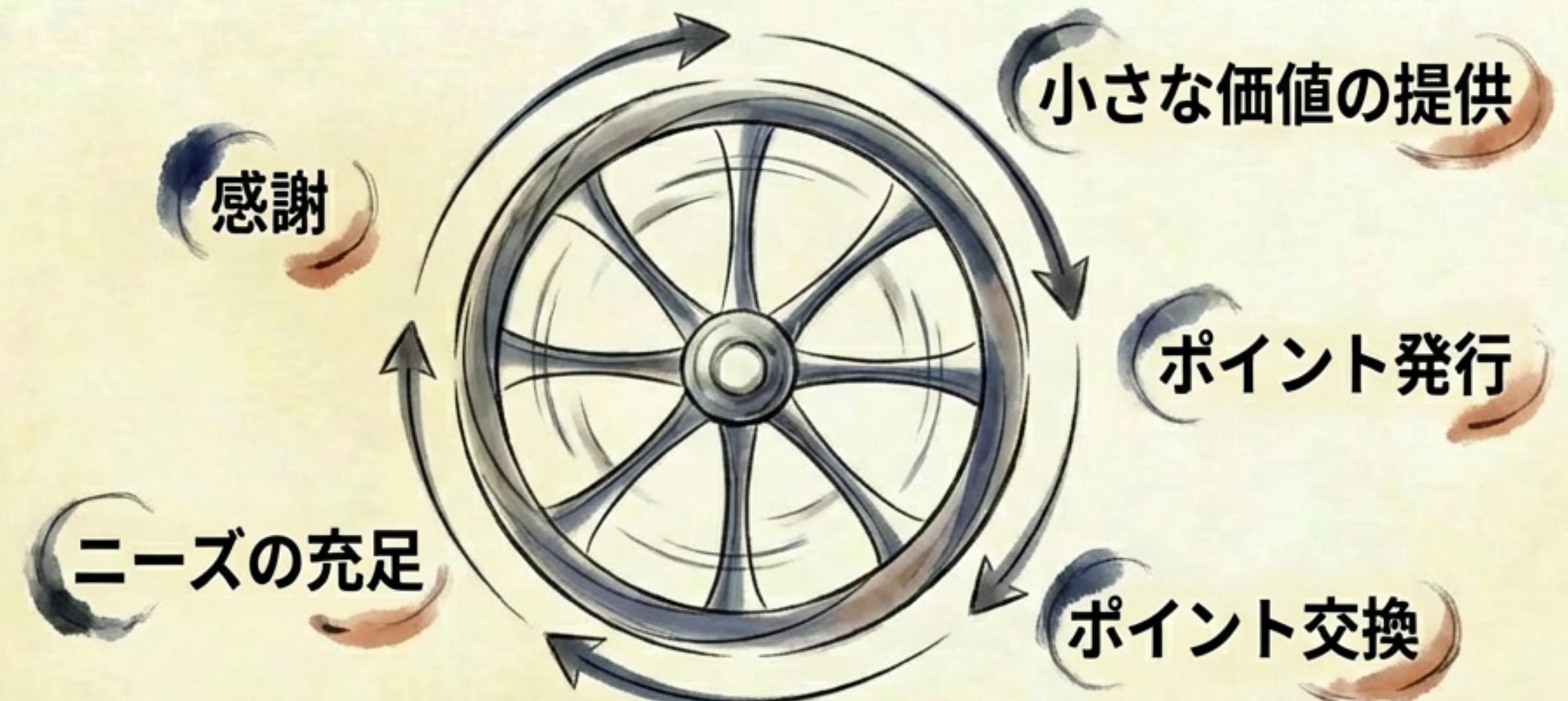
活用されずに消えていた
スキルや物を有効活用で
きます。

顔の見える関係



単なるレシートの関係では
なく、「誰が作ったか」
「誰がしてくれたか」とい
う体温のある繋がりが生
れます。

奪い合う世界から、分かち合う循環へ



奪い合えば足りなくなりますが、分かち合えば余ります。
私たちは「欠乏のマインドセット」から「充足のマインドセット」へ移行
し、現金の多寡によらない豊かさを手に入れます。

さあ、新しい「楽市」へ

楽市は金持ちになる場所ではありません。豊かに暮らすための場所です。
あなたの小さなスキルを、余っている時間を、持ち寄ってください。
本来あるべき経済の形を、ひとつずつの交換から取り戻していきましょう。

交換リングに参加する